

2022年8月31日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、観光関連がやや持ち直し、生産活動が一部で持ち直し、消費関連で持ち直しの動きがみられ、雇用情勢が横ばいとなっている。一方、畜産関連は弱含み、投資関連はやや弱含んでいる。全体として回復に向けた動きがみられるものの、足元ではコロナ第7波で感染者数が高止まりするとともに、海外情勢や急激な円安などの影響で先行き不透明感は強い。

生産活動は、5月の鉱工業生産指数が2か月連続で前年を上回った。食料品、窯業・土石製品、電子部品・デバイスのいずれも前年を上回った。

畜産関連では、7月の肉用牛（和牛）枝肉価格は去勢A4、去勢A3共に前年を上回った。また豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉相場も前年を上回った一方、鶏卵相場は前年を下回った。

個人消費関連は、6月の百貨店・スーパー販売額、専門量販店販売額共に前年を上回ったものの、7月の乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数共に前年を下回った。

観光関連では、7月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、8か月連続で前年を上回り、主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回ったが、全体的に低水準で推移している。

投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を下回った。

雇用情勢は、6月の有効求人倍率は前月と同水準となった。

【生産活動】... 一部で持ち直し

電子部品関連は、半導体需要が高まり、スマホや5G関連が好調に推移しているものの、一部で在庫調整の動きがみられる。また、海外情勢の影響で、先行きに不透明感がある。

6月の焼酎生産は6か月連続で前年を上回り、出荷量は2か月連続で前年を上回った。

5月のかつお節生産は、9か月連続で前年を下回った。

7月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが6か月連続で前年を下回り、民間工事向けも9か月ぶりに前年を下回り、全体では13.0%減と2か月連続で前年を下回った。

7月の紙パルプ生産は、2か月連続で前年を下回った。

木材関係は、製品相場がスギは前年を上回り、ヒノキは前年を下回った。

【畜産関連】... 弱含み

7月の子牛の出荷頭数は前年を上回り、価格は前年を下回った。7月の肉用牛（和牛）の枝肉価格は去勢A4は10か月ぶりに前年を上回り、去勢A3は2か月連続で前年を上回った。6月の枝肉生産量は前年を上回った。

7月の豚肉相場は3か月連続で前年を上回った。6月の枝肉生産量は前年を下回った。

7月のブロイラー相場は、もも肉は13か月ぶりに前年を上回り、むね肉は30か月連続で前年を上回った。7月の処理羽数は前年をやや上回った。

7月の鶏卵相場は前年を下回った。6月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】... 持ち直しの動き

6月の百貨店・スーパー販売は衣料品、飲食料品が前年を上回り、全体では9か月連続で前年を上回った。

6月の専門量販店販売額は、家電大型専門店、ドラッグストア、コンビニエンスストアのいずれも前年を上回った。

7月の乗用車新車登録台数は、半導体不足や部品供給減少などの影響により、11か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は5.9%減、小型車が7.4%減となった。

7月の軽自動車届出台数は14か月連続で前年を下回った。

【観光関連】... やや持ち直し

7月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、県民割・ブロック割効果などにより、関東、九州、関西などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、8か月連続で前年を上回ったものの、水準は低い状態が続いている。

鹿児島地区^注は、団体客は減少したものの、関東、九州、関西などからの入り込みや個人客が増加し、9か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、九州、関東、関西などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、9か月連続で前年を上回った。

指宿地区は、関東、関西などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、7か月連続で前年を上回った。

種子島・屋久島地区は、7か月連続で前年を上回り、奄美地区^注は5か月連続で前年を上回った。

7月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回ったが、全体的に低水準で推移している。

【投資関連】... やや弱含み

7月の公共工事は、件数、請負金額共に前年を下回った。

6月の民間建築工事着工は、棟数、床面積は前年を下回り、工事費予定額はほぼ前年並みとなった。

6月の新設住宅着工戸数は、貸家は前年を上回ったものの、持家、分譲が前年を下回り、全体では2か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を上回り、10.7%増となった。

6月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、2か月連続で前年を上回った。

【貿易関連】... 輸出額、輸入額共に前年を上回った

6月の輸出額は、ゴムタイヤ及びチューブが前年を下回ったものの、再輸出品、パルプ及び古紙、食料品及び動物、木材が前年を上回り、全体では51.1%増と4か月連続で前年を上回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を上回り、全体で150.2%増と15か月連続で前年を上回った。

^注 鹿児島・奄美地区は新型コロナウイルス療養施設を除く

【雇用情勢】 ... 横ばい

6月の有効求人倍率は前月と同水準の1.36倍となった。県内求人数を業種別にみると、更新時期のずれ等で製造業が前年を下回ったものの、建設業、卸売業・小売業、医療・福祉は前年を上回った。

【金融情勢】 ... 貸出金残高は前年を上回った

5月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.0%上回った。

【企業倒産】 ... 倒産件数は前年を上回った

7月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が4件で前年同月（2件）を上回った。また負債総額は2億29百万円で前年同月（6億79百万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel 099-225-7491)